

兵解協だより

平成28年度親睦旅行を開催いたしました

平成28年11月17日(木)～20日(日)に平成28年度親睦旅行を開催いたしました。行き先はタイバンコク方面で、7社10名が参加いたしました。

11月18日関西国際空港を0:30に出発し、現地時間5:05にバンコクスワンナプーム空港に到着、アマラホテルにて朝食後、早速バンコク市内観光へ。バンコクは、タイ王国の首都であり、かつて西洋の人々から「東洋のベニス」と称えられた美しい町で800を超える寺院があり、その華麗な色彩や独特の形、「天界の花」と呼ばれる棟飾りが人々を魅了しています。まず初めに訪れたのは、「王宮」。この王宮は1782年に建設され、国王の宮殿、即位式の建物、王室守護寺院のエメラルド仏寺院などのほか、宮内庁などの建物が、面積218,000平方メートルの敷地内に建てられています。エメラルド仏が保存されている「エメラルド寺院」、寝釈迦仏(涅槃仏)を安置している「ワットホー」等を訪れました。午後には、「暁の寺院」と呼ばれている「バンクック」の仏塔を見学しました。この日の観光はこれで終了し夕刻には、タイ名物の「タイスキ」を賞味し、「アマラホテル」に到着いたしました。その後は、各自で、ナイトバザールでの買物や名物の「タイ古式マッサージ」や散策などを楽しみました。

3日目はホテルでのバイキング朝食後、世界遺産のアユタヤを観光いたしました。アユタヤはかつて「タイ」が「シャム」と呼ばれていた時代に「アユタヤ王朝」として繁栄をきわめていました。有名な「山田長政」が活躍していた時代です。その後、「ビルマ軍」(現在のミャンマー)が侵攻し、寺院をことごとく破壊をしました。このため現在は、寺院等の遺跡のみが現存しているが、その歴史的価値から「世界遺産」に登録されています。遺跡の「ワットプラサンペット」や「ワットプラマハタート」等を見学し、その後「象乗り」を体験し、アユタヤ観光を終了しました。

夕食には、タイ料理の「海鮮料理」が予定されていましたが、タイでの最後の食事になるため締めは「日本料理」に変更することになり、日本人が経営する「呑」という店で、「日本料理」を賞味いたしました。

これですべての予定が終了し翌日は、帰国の途につくだけとなりました。

今回の「親睦旅行」を計画したのち、10月13日にプミポン国王が逝去され、国全体が「喪に服す」事になり、計画を中止することも検討いたしましたが、予定どおり実施することに決定いたしました。実際には、観光等に大きな影響はありませんでした。それぞれに観光、買物、タイ料理などを楽しみ、参加者全員が満足をする旅となりました。

最終日の11月20日(日)は朝食後、バンコクスワンナプーム空港へ向かい搭乗手続を済ませ現地時間10:40分に出発し、日本時間の18:10に関西国際空港に無事到着し親睦旅行はすべて終了しました。

来年度も「楽しい親睦旅行」を計画いたしますので、多くの会員の皆様のご参加をお待ちしております。

兵解協だより

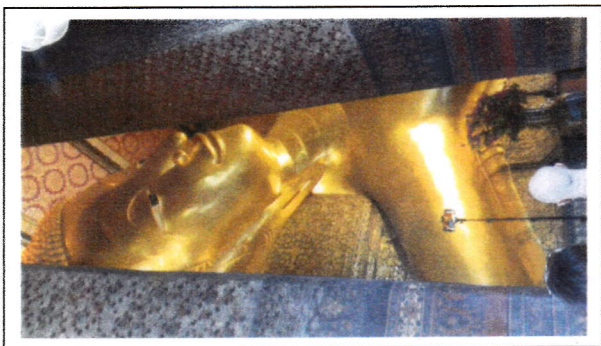
平成28年度親睦旅行(タイ旅行)写真集



王宮内にあるエメラルド寺院



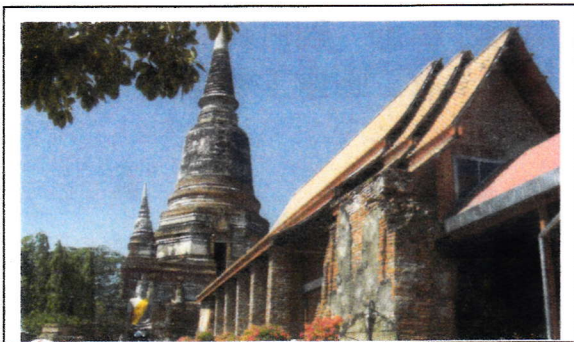
ラーマ1世が作った欧風宮殿



寝釈迦仏のある「涅槃寺」



ナイトバザール



アユタヤに残るアユタヤ最大の寺院と仏塔



世界遺産のアユタヤ遺跡群



寝釈迦を祭ったチャイ・モンコン寺院



タイ最後の夕食、日本料理の「呑」の風景